第130回古民家歷史部会 · 歷史探訪



平成30年9月5日(水)

「金沢区・釜利谷史跡巡り」

*集合:神奈中バス停「大道中学前」10時 00分厳守同時出発

*解散:京急「金沢文庫駅」



ほたんちゃん

牡丹

金沢区は、古くから交通の要所として栄え、観光地、別荘地としてにぎわってきました。 鎌倉文化を現代に伝える県立金沢文庫、称名寺に代表される歴史的・文化的資産や名所・旧跡が今も数多く残っています。また、市内唯一の自然海岸がある野島公園のほか、海の公園、八景島、金沢自然公園など、海・山両方の豊かな自然に恵まれていて、 市内 18 区の中では最大の公園面積を有し、歴史・自然豊かなまちです。

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★金沢区役所発刊図書ほか

①鼻欠地蔵

この地蔵の東わずか2メートルの所が、武蔵の国との国界(くにざかい)でした。これから西は相州、東は武州で相武の境にあたるので、「界の地蔵」、また鼻が欠けているところから「鼻欠地蔵」とも呼ばれていました。今は風化が進み、地蔵の顔や姿は説明されないとわからない程になってしまいました。

②白山道奥磨崖

自山道の右側奥の崖の中腹に、よく見ると大きな仏像の 顔が掘り込まれています。このように岩面や洞窟内の壁面 に仏像を刻みつけたものを磨崖仏と呼んでいます。ここに ある磨崖仏は、永い間に風化し、僅かに岩肌に顔の部分だ けが、約 4m程、それとわかる輪郭でしか残されていませ ん。六浦の大道にも鼻欠地蔵と呼ばれる磨崖仏があります が、横浜市には、この磨崖仏と合わせて二つしかありませ ん。

③白山社

自山社は全国に約2700社あり、その総本社は石川県自山市にあり、熊野権現と並んで全国的に普及しました。ここの自山社の中央の扉をあけると、昆沙門天らしき像、右側には衣冠束帯の尊像、左側には自然石が安置されています。昔はこの近辺から金糞(かなくそ)(鉄を精錬するときに出るカス)が出土していたことから、おそらくこの付近に鍛冶屋たちが住んでいて、白山社を建立し、精神的な支えとしたものと思われます。

④白山東光禅寺

本尊は畠山重忠の念持仏であった薬師如来で、脇仏は左 に日光、右に月光の二菩薩、さらに、十二神将を従えてい ます。

寺宝として重忠が愛用したと伝えられる馬具(くら・あぶみ・くつわ)があります。

なお、境内には、畠山重忠の供養塔があります。

⑤手子神社

境内には、千尋の谷から這い上がる子とじっと待つ親という、珍しい狛犬があります。

また、境内社「竹生島弁財天」は、古くより金沢八景の一つ「小泉の夜雨」の勝景の中心として神社の東側にあったのですが、昭和15年海軍の施設建設により現在地の神社内に移建し遷祀されたものです

⑥正法院

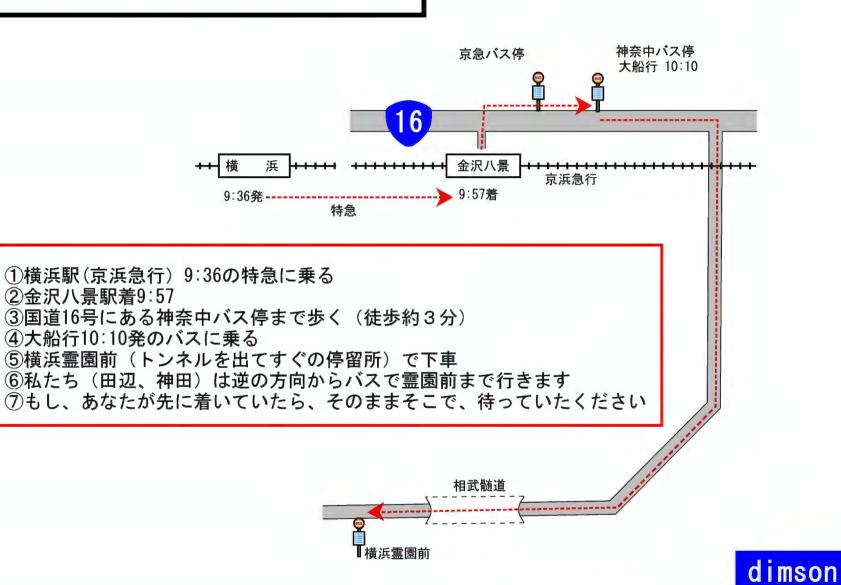
今から約1200年程前、弘法大師が関東方面に来た時、当時の村人は地下水を利用する知識がなく、水不足に苦しみ、疫病がはやり苦難にあえいでいました。弘法大師はこの地に井戸を掘り、そしてこの井戸水を真言密教で加持し、この水で不動明王像を描き護摩の祈祷を厳修したのが、正法院の始まりであると伝えられています。この赤井の井戸が、山号、地名となり、金沢の七井(ななせい)の一つに数えられています。

⑦赤井稲荷

神社裏の崖には溝が掘られ、崖から滴る水を集めて溜める仕組みになっています。江戸神田囃子(えどかんだばやし)の流れを汲む野島の囃子・木遣りが奉納されます。



12月11日(木)の電車、バスの時間について

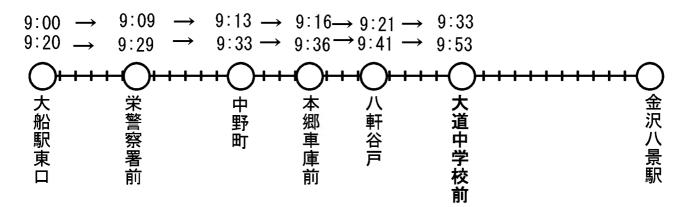




大道中学校前までのバス路線



大船駅(栄区)乗り場3番で金沢八景駅行(船08)に乗車してください。



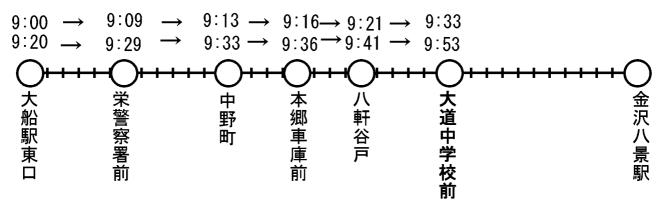
金沢八景駅からは【神奈中バス】のすべてと【京急バス】の「鎌倉行」、「太刀洗行」、「三信住宅行」に乗車できます。



大道中学校前までのバス路線



大船駅(栄区)乗り場3番で金沢八景駅行(船08)に乗車してください。



金沢八景駅からは【神奈中バス】のすべてと【京急バス】の「鎌倉行」、「太刀洗行」、「三信住宅行」に乗車できます。